

ユネスコ協会便
2019年6月吉日
事業部

【2019年度以降のカンボジアスタディツアー企画の際のお願い】

日頃より、『ユネスコ世界寺子屋運動』にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
ございます。

近年、支援者の皆さまの現地視察や、研修目的など、カンボジアへのスタディツアーが増加傾向にあることから、事前手配ならびに日程調整をよりスムーズにし、現地・カンボジア事務所の通常業務の一環として遺漏なく対応するべく、2015年2月に出させていただいたガイドラインを更新いたしましたので、ご案内申し上げます。適用は、2019年6月1日からといたします。何卒ご承知おきくださいますよう、お願い申し上げます。

寺子屋は基礎教育の場であるだけでなく、収入向上活動を通じた貧困の克服と地域の活性化を目指す場であると同時に、地域の人びとにとっては日々の暮らしの場でもございます。何卒ご一読の上、ご協力くださっている皆さまと、現地に暮らす人びとの双方にとって、相互理解を深め、良い学びの機会となるよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、同封のガイドラインは「世界寺子屋運動」を中心に記載しておりますが、「世界遺産活動」の一環として、「アンコール遺跡群」のひとつであるバイヨン寺院の彫像修復の支援を継続しております。現地での説明と修復活動体験をご希望の場合も、事務局にその旨お申し付けいただければ、可能な限り対応させていただく所存ですので、よろしくようお願い申し上げます。なお、上記説明と体験にはコース毎に実費（一人あたりUS\$40程度）がかかりますので予めご了承ください。

また、本ガイドラインは、寺子屋における各プログラムの運営状況の変化に応じ、現地事務所との相談の上、適宜見直しをしております。今後も、内容更新の際はご案内差し上げますので、ご了承のほどお願い申し上げます。

同封資料：カンボジア寺子屋スタディツアー・ガイドライン

【本ガイドラインに関するお問い合わせ先】

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 事業部 宍戸（ししど）

TEL: 03-5424-1121 E-mail: nfuaj_inc@unesco.or.jp

◆ カンボジア寺子屋スタディツアー・ガイドライン ◆

スタディツアーの事前申請に関して

1. 【実施3か月前までに】スタディツアー受入依頼書のご送付
ご要望に基づき、事務局より受入依頼書をお送りいたします。
2. 【実施2か月前までに】スタディツアー企画書のご送付
「参加者リスト(和文・ローマ字表記)、日程、希望する活動」の3点を盛り込んだ企画書を、事務局にお送りください。
企画書は、「和文」(必須)と、現地と迅速なやり取りを行うため可能な限り「英文」の2種類で作成をお願いいたします。英文での提出が難しい場合は、事務局にご相談ください。

※カンボジア国の祝日等と重なる場合や村の行事、プロジェクトの状況により、受け入れが難しい時期があります。また、カンボジア事務所は少人数で業務をあたっておりますため、同時期に2件以上のご申請があると、ご希望に添えない場合もございますので、予めご了承ください。

STの企画と実施について(手配内容)**【日ユ協連で手配する内容】**

1. 日ユ協連カンボジア事務所訪問(寺子屋訪問前の事前研修) 目安:1時間
スタディツアー参加者は、「アンコール寺子屋プロジェクト」を理解するために、可能な限り日ユ協連カンボジア事務所にて活動の事前説明を受けていただければ幸いです。
※現地事務所訪問が難しい場合は、東京事務所での対応あるいは事前資料をお配りしますので、内容について事前にご理解いただけましたら幸いです。
2. 寺子屋訪問 目安:1.5~2時間(ご相談の上、午前・午後・夜間からお選びいただけます)
企画書の「希望する活動」に応じ、連盟事務局とカンボジア事務所で調整します。

訪問時間	活動内容
午前10時~11時半	◎寺子屋の活動見学 例) 授業見学、寺子屋運営委員会との懇親会など
午後2時~4時	◎「収入向上活動」体験 例) ホテイアオイのコースター作り体験 など ◎コミュニティ活動の手伝い ◎アンコールトム・バイヨン寺院の石像修復体験
午後7時~8時半	◎夜間識字クラス視察

【旅行代理店でお手配いただく内容】

上記以外の「現地での通訳ガイド(日・クメールまたは日・英)」、「飛行機・ホテル予約」「現地の移動手段(車両手配)」「食事手配」などは、それぞれ旅行代理店でお手配くださいますようお願いいたします。旅行代理店の紹介を希望される際は、その旨事務局にご相談ください。

カンボジア事務所職員のコーディネート・事業説明・同行費用のご負担のお願い

ご訪問に当たっては、現地事務所職員が「各寺子屋への受け入れ打診」「当日のクラス実施時間変更・調整」「出席者確認」などの事前のコーディネート、ならびに当日のプロジェクト説明（英語またはクメール語）、および寺子屋ご訪問に同行いたします。

つきましては、運営資金として下記の金額を封筒などで包み、同行した職員にお渡しいただき、領収書をお受け取りくださいますようお願い申し上げます。

- ① 現在の世界寺子屋運動対象地へのご寄付企業・団体・ユ協＝ 100ドル/団体（1日当たり）
- ② 書きそんじハガキ・キャンペーン参加企業・団体・ユ協＝ 100ドル/団体（1日当たり）
- ③ 協力ユ協が共催ないし後援団体となっている、「自治体・学校などが主催」、または上記①②に該当しない「ユ協が主催」するスタディツアー ＝ 200ドル/団体（1日当たり）
ただし、1団体当たりの目安として 20名を上限とさせていただきます。
20名を超える場合は、別途、追加のご負担をお願いします。（応相談）

※ユ協等の関係しない「学校の研修旅行」の寺子屋での受け入れも、別条件にて対応させていただいております。詳細はご相談ください。

寺子屋へのご寄附等に関するお願い

- 寺子屋で収入向上活動体験をされる場合は、体験をされる方お一人当たりに実費がかかります。あらかじめご了承ください。費用は、体験内容により変わりますので別途ご相談ください。
- 寺子屋に物品の寄贈を希望される場合は、事前に事務局にご相談ください。現地で必要とされているものは何なのか、当日の参加者全てにいきわたるのか等を含めて配慮を要しますので、村の人びとに、直接現金や物品を渡さないようお願いします。

寺子屋訪問に際してのお願い

- カンボジアの人びとは、人前に立つことにあまり慣れておらず、恥ずかしがられる場合が多いため、スタディツアー参加者がパフォーマンス（歌、ダンス、空手など）を行う際に、見学している村の人びと（とくに若者）に対して、参加を強要することは極力避けていただければ幸いです。
- 寺子屋訪問の際に出たゴミは、ご面倒でもお持ち帰りください。

以上

本ガイドラインは、寺子屋における各プログラムの運営状況の変化に応じ、現地事務所との相談の上、適宜見直しをしております。今後も、内容更新の際はご案内差し上げますので、何卒ご了承ください。